

令和3年度ナイター・バレーボール大会開催要項

1. 目的 運動する機会の少なくなる冬季間における市民の健康増進並びに体力向上を図るとともに、相互の交流と親睦を図る。
2. 主催 一般社団法人二戸市体育協会 二戸市教育委員会
3. 期 日 令和4年2月1日（火）～令和4年2月22日（火）
開催は週1回火曜日のみとなります。
なお、参加チーム数により実施回数に変更となることがあります。
4. 時 間 午後7時30分試合開始。（午後7時00分開場）
5. 場 所 二戸体育館
6. 参加資格 二戸市民又は市内に勤務しているもの。（年齢・性別は問わない。）
7. 参加費 無料
8. 競技方式 リーグ戦方式で行う。ただし、参加チーム数により変更する場合があります。
9. 競技規則 別紙、競技規則・ルールを参照ください。
10. チーム編成 監督、選手10名以内で登録すること。
但し、監督は選手を兼ねることができる。
11. 表 彰 優勝・準優勝・第3位まで表彰する。
12. 使 用 球 ソフトバレーボール公認球を使用する。
13. 審 判 組合せにより各チームで行う。
14. 参加申込先 一般社団法人二戸市体育協会 担当：安ヶ平 大地
二戸市石切所字荷渡22-20 （二戸市総合スポーツセンター内）
TEL 23-7211 FAX 23-5031
15. 申込期限 別紙申込書により記入のうえ、1月16日（日）までに申し込んで下さい。
16. そ の 他 コート設営及び試合進行等については、参加者が行って下さい。
別紙、新型コロナウイルス感染予防対策要項を参照して下さい。

令和3年度ナイターバレーボール ローカルルール

I. 施設と用具

1. コート

コートは13.4m×6.1mの広さを持つ長方形。
ただし、バドミントンコートで行う。

2. ネットおよび支柱

幅80cmのソフトバレーボール用ネットを用い、ネットの高さは、2m。
ソフトバレーボール用ネットを使用する。

3. ボール

ボールは、ゴム製で重さ210g±10g、円周78cm±1cmの日本ソフトバレーボール連盟公認球のソフトバレーボールを使用する。

II. チーム

1. チームは、監督1人、キャプテンを含む選手4人と、5人以内の交代選手で構成され、監督は選手を兼ねることができる。(選手最大10人)
2. 競技はすべて4人で行われる。ただし、ソフトバレー連盟に所属していない女性が出場した場合は、1人につき3点を付与できる(最大6点)。得点を付与された場合は同姓同士の交代のみとする。(途中出場での得点付与は認めない)。
3. 付与する得点は両チームの女性の人数の差とする。
例 Aチーム女性2名、Bチーム女性1名の場合はAチームが3点とする。
Aチーム女性2名、Bチーム女性2名の場合は0-0とする。

III. 試合の準備と進行

1. キャプテンのジャンケン

両チームのキャプテンがジャンケンし、勝ったチームキャプテンは、サービス権またはコートのいずれか一つを選ぶ。最終セットが行われる場合、両チームキャプテンはもう一度ジャンケンを行う。

2. ウォーミングアップ、クールダウン

試合開始前後には準備運動やストレッチを行い、ケガの防止に努めること。

3. 選手の位置とローテーション

- 1) サーバーがボールを打った瞬間に両チームはサイドライン近くに位置していなければならない。ただし、バックの選手が対角となるフロント選手より前方に位置しても反則とはならない。
- 2) サービスを打った後は、どのように移動してもよい。(ただし、相手チームのコートの中に入るなどは不可)
- 3) サービス権を得たとき、そのチームの選手は、時計回りに一つずつ位置を移動(ローテーション)する。
- 4) ローテーション順は、そのセットを通じて変更することはできない。

4. 競技の中断

- 1) タイムアウト
各チームは、1セットにつき最大2回のタイムアウトが認められる。タイムアウトは1回につき30秒間。また、タイムアウトは連続して要求することができる。
- 2) 選手の交代
各セットの選手交代は5回以内とする。ただし、『II. チーム>2.』を守ること。

5. コートの交代(コートチェンジ)

- 1) 第1セットの終了後、チームはコートを交替する。
- 2) 最終（第3）セットは、試合途中でのコート交替は行わない。

IV. 得点、セットおよび試合の勝者

1. 試合は3セットマッチとし、2セットを先取したチームがその試合の勝者となる。
2. 得点はラリーポイント制で1セット15点とし、14対14の同点になった場合は、2点差がつくまで続ける。ただし、17点で試合は打ち切られ、17点を先取したチームが1点差でもそのセットの勝者となる。
3. 負傷などで選手交代が正規に交替できない場合は、例外的に性別は問わず交替を認める。
4. 試合時間制限は30分とし、30分経過した場合そのセットで得点が高い方の勝者となる。また、得点とセットが同じ場合、次のプレーで先取した方を勝者とする。

V. プレー上の動作と反則

1. サービス

サービスとは、サービスゾーン内からバックライトの選手が、片手の手または腕でボールを打ち、インプレー状態にする行為である。

- 1) 第1セットおよび第3セットの最初のサービスは、ジャンケンの結果サービス権を得たチームが行う。
- 2) 第2セットの最初のサービスは、第1セットで最初にサービスを行なわなかったチームが行う。
- 3) ラリーに勝ったチームがサービスチームであれば、前にサービスした同じ選手がサービスを行う。
- 4) サービスをレシーブしたチームがラリーに勝った場合は、サービス権を得てローテーションして、バックライトに位置した選手がサービスを行う。
- 5) サービスは1回とする。
- 6) サーバーは、ボールを打った瞬間、あるいはジャンプサービスをするため踏み切ったときコート（エンドライン含む）に触れてはならない。

2. ボールへの接触

- 1) チームは、ネットを超えてボールを返すために、ブロックへの接触を除いて最大限3回プレーすることができる。
- 2) 選手は連続して2回ボールに触れることはできない。（ブロックを除く）
- 3) ボールは、身体の中の部分に当たってもよい。
- 4) ボールは、明瞭に打たなければならない。体の一部で静止させたり、つかんだり、投げてはならない。

3. ブロック

ブロックとは、選手がネットに接近して相手チームから送られてくるボールをネットの上端より上方で阻止する行為をいう。

- 1) 4人の選手は、どの位置にいるときでも相手のプレーの後、ブロックすることができる。ただしオーバーネットは許されない。その基準はボールと手（身体）の接触点で判定される。
- 2) 相手チームがサービスしたボールをブロックすることは許されない。
- 3) ブロック後の第1回目の接触は、ブロックのときボールに触れた選手を含め誰にでも許される。（ブロックワンタッチは1本目と数えない）

4. ボールインとボールアウト

ボールイン：ボールが、コート区画線を含むコート内の床に接触したとき。

ボールアウト：

- ①ボールが、コート区画線の完全な外側の床に接触するかコート外の物体に触れたとき。
- ②ボールが、アンテナのみに触れたとき。
- ③ボールが、アンテナの外の空間を通過したとき。
- ④ボールが、ネット下方の空間を完全に通過したとき。

5. プレー上の反則

- 1) サービスを打った瞬間、あるいはジャンプサービスをするため踏み切った時にコートやエンドラインに触れたとき。＜フットフォルト＞
- 2) サーブ順を間違えたとき。＜サービス順の誤り＞
- 3) サーバーが動作を始めてから打った瞬間までに、それぞれのコート内でローテーション順に位置していなかったとき。＜アウトオブポジション＞
- 4) サービスしたボールが、①ネットやサーバー側の選手に触れた時。②サーバー側のコート内の床に接触したとき。③ボールアウトになったとき。＜サービスフォルト＞
- 5) 相手チームがサービスしたボールをネット上端より完全に高い位置からアタックヒットして完了したとき。＜アタックヒットの反則＞
- 6) 相手チームがサービスしたボールをブロックしたとき。＜ブロックの反則＞
- 7) 相手コートへ打ち返すためにボールの接触（ブロック除く）が最大限3回を超えたとき。＜オーバータイムス＞
- 8) 明らかにボールが止まるようなプレーがあったとき。＜ホールディング＞
- 9) ブロックを除き、同一選手が明らかに2度つづけてボールに触れたとき。＜ドリブル＞
- 10) インプレー中にネットやアンテナに触れたとき。（インプレー中に柱に触れてもOK）＜タッチネット＞
- 11) ネットを超えて相手コート内にあるボールに触れた時。＜オーバーネット＞
- 12) センターラインを完全に超えて相手コートに触れたとき。＜パッシングザセンターライン＞
- 13) 両チームが同時に反則したとき。＜ダブルファウル＞
- 14) 相手チームプレーを妨害する行為があったとき。＜インターフェア＞

VI. その他

記載されている競技規則・ルールは（公財）日本バレーボール協会制定のソフトバレーボール競技規則から抜粋し、記載したものである。明記した競技規則・ルール以外において試合進行に支障をきたすことに関しては、審判および試合を行っている両チームによる話し合いにより解決または決定すること。